

別冊

L1プロダクト結合用バッチファイル使用方法

目 次

1. 概説.....	1
2. 復元手順.....	3
2.1 作業手順概要.....	3
2.2 結合処理の流れ.....	4
2.3 MS-DOS の場合.....	5
2.4 UNIX/Linux の場合.....	10

1. 概説

処理済みプロダクトの総容量が600MBを超える場合は、複数枚のCD-R媒体に分割して格納します。結合用バッチファイルは、CD-R媒体の枚数に関らず、全てのCD-R媒体に必ず格納されます。

処理済みプロダクトの分割方法は、1つのファイル(イメージファイル)の最大サイズが600MBを超える場合と超えない場合とで異なり、格納形式はそれぞれ以下の(a)、(b)のようになります。

(a) 1つのイメージファイルが600MBを超える場合

600MBを超えるファイルを分割して、CD-R媒体に格納します。

(b) 1つ1つのイメージファイルが600MBを超えない場合

ファイルの分割はせず、複数枚のCD-R媒体に振り分けて格納します。

パターン(a)については、結合用バッチファイルを実行することにより、複数枚のCD-R媒体に分割され、格納されたファイルから、ユーザ計算機内のローカルディスク上に処理済みプロダクトとサマリ情報を復元することができます。(手順詳細は2項参照)

パターン(b)については、コピーコマンドにより、複数枚のCD-R媒体に振り分けて格納されたファイルを、ユーザ計算機内のローカルディスク上に復元することができます。また、パターン(a)に対する手順と同様に、結合用バッチファイルを実行することによっても、復元することができます。

CD-R媒体には、処理済みプロダクト以外に下記のファイルを格納します。

(1) 結合用バッチファイル(ファイル名: Restore_DOS.bat, Restore_UNIX.csh)

CD-R媒体に格納されている処理済みプロダクトをユーザ計算機内のローカルディスク上に展開するためのバッチファイルです。CD-R媒体内に以下のファイルが格納されています。

- ・ Restore_DOS.bat (MS-DOS用)
- ・ Restore_UNIX.csh (UNIX・Linux用)

(2) CD-R 分割情報ファイル(ファイル名: Divide_Info.txt)

各CD-R媒体に分割して格納されているファイルの情報を、全てのCD-R媒体分格納しています。格納されているファイル情報は、パラメータ形式で示されます。記録されている情報は、表-1のとおりです。

表-1 CD-R分割情報ファイル

キーワード	名称	概要
MediaNN (NN : 2桁の数字)	媒体 識別子	処理済みプロダクト外を構成するCD-R媒体の総枚数に対し、何枚目のCD-R媒体であるかを示す。本ファイルが格納されたCD-R媒体である場合、行末に“Current”が付加されている。 例1) Media01=1/2 (2枚構成の1枚目) 例2) Media02=2/2,Current (2枚構成の2枚目で該当CD-R媒体)
L1NameNNN (NNN : 3桁の数字)	ファイル 識別子	CD-R媒体に格納されている処理済みプロダクト外の構成ファイルのファイル名、分割の有無を示すフラグ(0:分割無し、1:分割有り)、分割有りの場合は分割されたファイルの格納開始/終了ライン番号が区切りで格納されている。 例3) L1Name001=IMG-HH-SSSSSSSSSSSSSS-PPPPPP,0 (1番目の構成ファイル、分割無し) 例4) L1Name002=IMG-HH-SSSSSSSSSSSSSS-PPPPPP,1,1-500 (2番目の構成ファイル、分割有り、格納ライン1~500)

各 CD-R 媒体内に格納されている分割情報ファイルの例を図-1に示します。図-1 は、CD-R 媒体が3枚に分割された場合の「DISKS : 1 of 3」に格納されている CD-R 分割情報ファイルのダンプリストです。

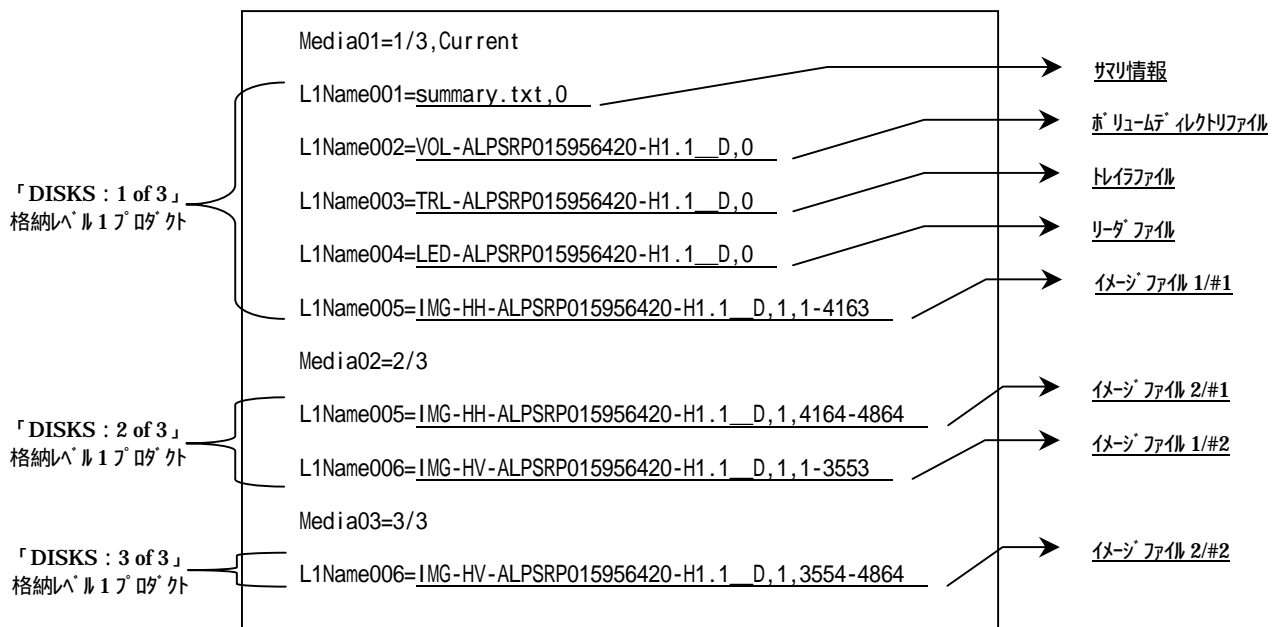


図-1 CD-R分割情報ファイル(ダンプリスト)

2. 復元手順

2.1 作業手順概要

CD-R媒体からレベル1プロダクトをローカルディスク上へ復元するための基本的な作業手順は、以下のとおりです。

CD-R媒体をCDドライブに装填する。

結合用バッチファイルを実行する。

CD-R媒体をCDドライブから取り出す。

以降、レベル1プロダクト生成完了を示すメッセージが表示されるまで、全ての分割されたCD-R媒体分 ~ の手順を繰り返します。

以下、PALSAR Level 1.1プロダクトを例に、3枚のCD-R媒体に分割された場合の手順を以下に示します。ユーザの手元には、「DISKS : 1 of 3」、「DISKS : 2 of 3」、「DISKS : 3 of 3」(ラベル表面の印字情報)の3枚のCD-R媒体が用意されているものと想定します。文中、は半角ブラックを示します。なお、本ケースは、1章で記載のパターン(a)に該当しますが、パターン(b)についても同じ手順となります。

2.2 結合処理の流れ

複数枚のCD-R媒体に分割して格納されたレベル1プロダクトを、結合用バッチファイルにより結合する処理の流れを図-2に示します。

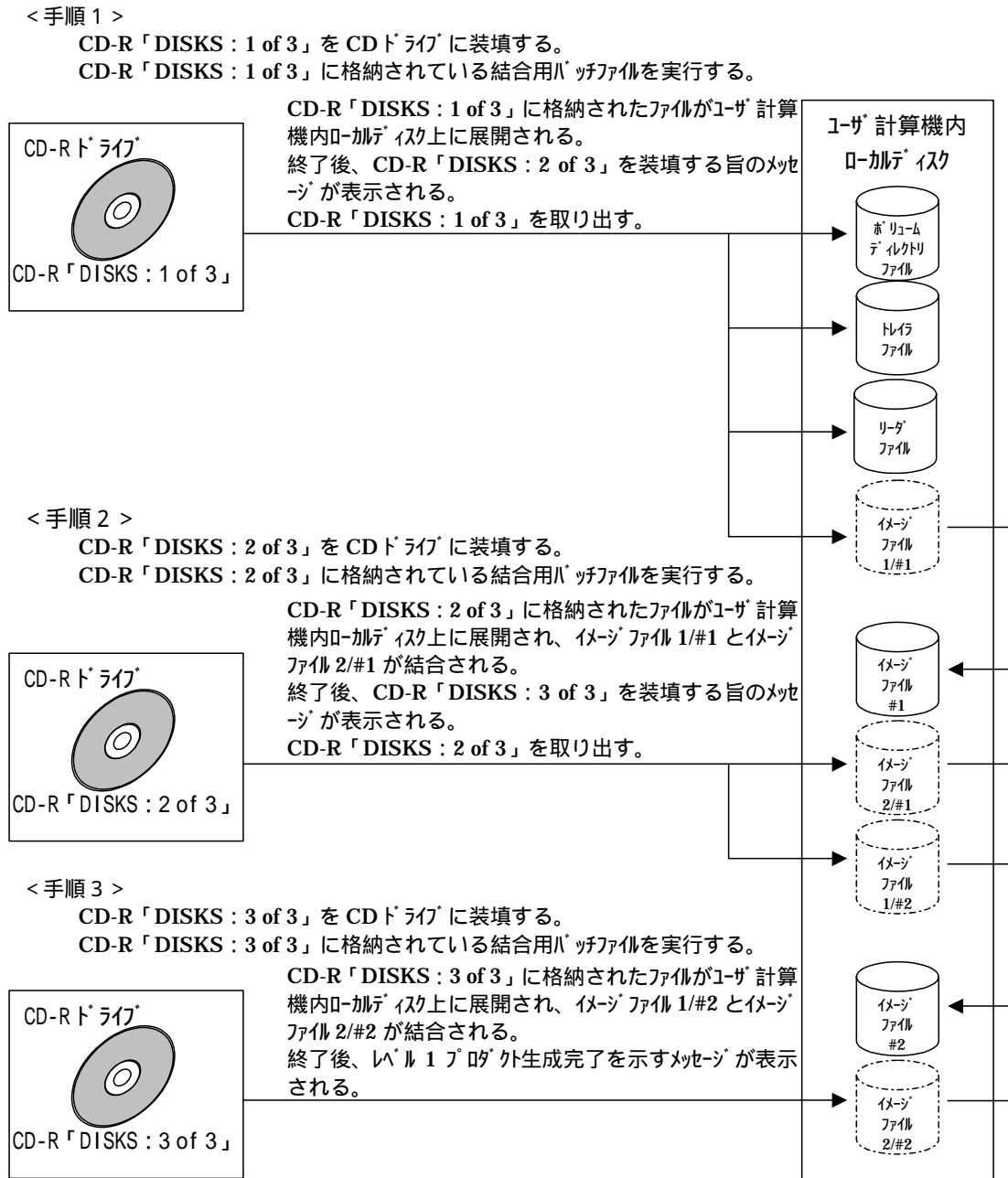


図-2 結合用バッチファイルによる結合処理の流れ

2.3 MS-DOS の場合

ユーザの計算機の OS が、MS-DOS の場合の手順を以下に示します。なお、Windows の場合は、「コマンドプロンプト」より実行可能です。なお、図-3 は、MS-Windows XP 上での復元操作のサンプルです。

(確認済み対応環境：MS-Windows NT, MS-Windows XP, MS-Windows 2000)

- (1) CD-R 媒体「DISKS : 1 of 3」を CD-R ドライブに装填する。
- (2) CD-R の割当ドライブに移動する。
(図-3 (1/5)中、[q:]コマンドの実行に該当)
- (3) [dir]コマンドを実行し、CD-R 媒体内の結合用バッチファイル Restore_DOS.bat を確認する。
(図-3 (1/5)中、[dir]コマンドの実行に該当)
- (4) CD-R 媒体「DISKS : 1 of 3」に格納されている結合用バッチファイルを実行する。
> Restore_DOS.bat [展開先のディレクトリ名]
(図-3 (1/5)中、[Restore_DOS.bat C:¥ALOS]コマンドの実行に該当)

```

コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:¥Documents and Settings¥Administrator>q:
Q:¥>dir
ドライブ Q のボリューム ラベルは CDROM です
ボリューム シリアル番号は FCEC-74E9 です

Q:¥ のディレクトリ

2003/11/13  14:56                394 Divide_Info.txt
2003/11/13  14:55          615,575,204 IMG-HH-ALPSRP015956420-H1.1__D
2003/11/13  14:54          12,506,264 LED-ALPSRP015956420-H1.1__D
2003/11/13  14:56                605 Restore_DOS.bat
2003/11/13  14:56                641 Restore_UNIX.csh
2003/11/13  14:54          960,720 TRL-ALPSRP015956420-H1.1__D
2003/11/13  14:54                2,160 VOL-ALPSRP015956420-H1.1__D
2003/11/13  14:56                1,215 summary.txt
           8 個のファイル          629,047,203 バイト
           0 個のディレクトリ          0 バイトの空き領域

Q:¥>Restore_DOS.bat C:¥ALOS_

```

図-3 MS-DOS 復元手順 (1/5)

- (5) 結合用バッチファイルを実行すると画面がクリアされ、[CD-R #1 Loading now...]のメッセージが表示され、MS-DOS が出力するコピーメッセージが表示される。
- (6) バッチファイルの処理が終了すると、[Please change to CD-R #2...]のメッセージが表示される。
- (7) MS-DOS が出力するメッセージに従って操作を行い、プロンプトが戻ってきたら、CD-R 媒体「DISKS : 2 of 3」を CD-R ドライブに装填する。
- (8) [dir]コマンドを実行し、CD-R 媒体内の結合用バッチファイル Restore_DOS.bat を確認する。
(図-3(2/5)中、[dir]コマンドの実行に該当)
- (9) CD-R 媒体「DISKS : 2 of 3」に格納されている結合用バッチファイルを実行する。
> Restore_DOS.bat [展開先のディレクトリ名]
(図-3(2/5)中、[Restore_DOS.bat C:¥ALOS]コマンドの実行に該当)

```
コマンド プロンプト
CD-R #1 Loading now...
 1 個のファイルをコピーしました。
 1 個のファイルをコピーしました。
 1 個のファイルをコピーしました。
 1 個のファイルをコピーしました。
 1 個のファイルをコピーしました。
Please change to CD-R #2...
続行するには何かキーを押してください . . .
Q:¥>
Q:¥>
Q:¥>dir
ドライブ Q のボリューム ラベルは CDROM です
ボリューム シリアル番号は E0EC-74C9 です

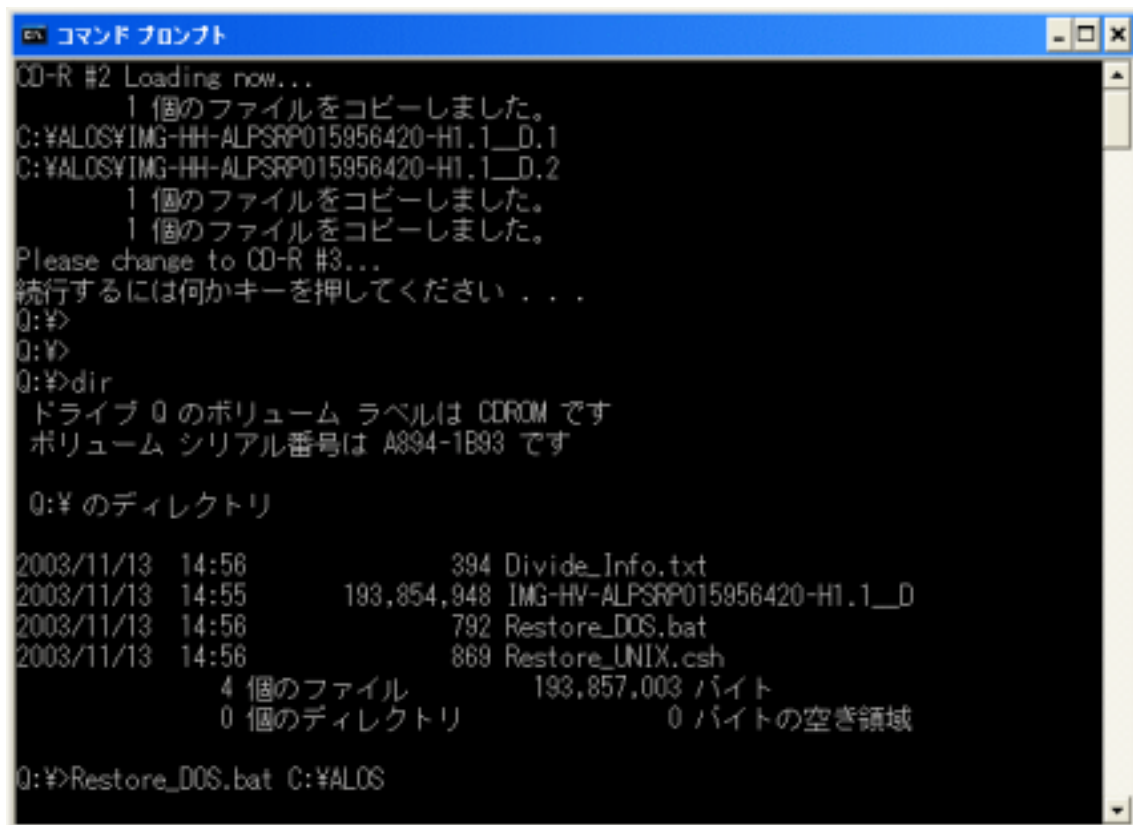
Q:¥ のディレクトリ

2003/11/13  14:56                394 Divide_Info.txt
2003/11/13  14:55          103,655,468 IMG-HH-ALPSRP015956420-H1.1_D
2003/11/13  14:55          525,375,724 IMG-HV-ALPSRP015956420-H1.1_D
2003/11/13  14:56                868 Restore_DOS.bat
2003/11/13  14:56                929 Restore_UNIX.csh
                5 個のファイル          629,033,383 バイト
                0 個のディレクトリ          0 バイトの空き領域

Q:¥>Restore_DOS.bat C:¥ALOS
```

図-3 MS-DOS 復元手順 (2/5)

- (10) 結合用バッチファイルを実行すると画面がクリアされ、[CD-R #2 Loading now...]のメッセージが表示され、MS-DOS が出力するコピーメッセージが表示される。
- (11) バッチファイルの処理が終了すると、[Please change to CD-R #3...]のメッセージが表示される。
- (12) MS-DOS が出力するメッセージに従って操作を行い、プロンプトが戻ってきたら、CD-R 媒体「DISKS : 3 of 3」を CD-R ドライブに装填する。
- (13) [dir]コマンドを実行し、CD-R 媒体内の結合用バッチファイル Restore_DOS.bat を確認する。
(図-3(3/5)中、[dir]コマンドの実行に該当)
- (14) CD-R 媒体「DISKS : 3 of 3」に格納されている結合用バッチファイルを実行する。
> Restore_DOS.bat [展開先のディレクトリ名]
(図-3(3/5)中、[Restore_DOS.bat C:¥ALOS]コマンドの実行に該当)



```
コマンド プロンプト
CD-R #2 Loading now...
  1 個のファイルをコピーしました。
C:¥ALOS¥IMG-HH-ALPSRP015956420-H1.1__D.1
C:¥ALOS¥IMG-HH-ALPSRP015956420-H1.1__D.2
  1 個のファイルをコピーしました。
  1 個のファイルをコピーしました。
Please change to CD-R #3...
続行するには何かキーを押してください . . .
Q:¥>
Q:¥>
Q:¥>dir
ドライブ Q のボリューム ラベルは CDROM です
ボリューム シリアル番号は A894-1B93 です

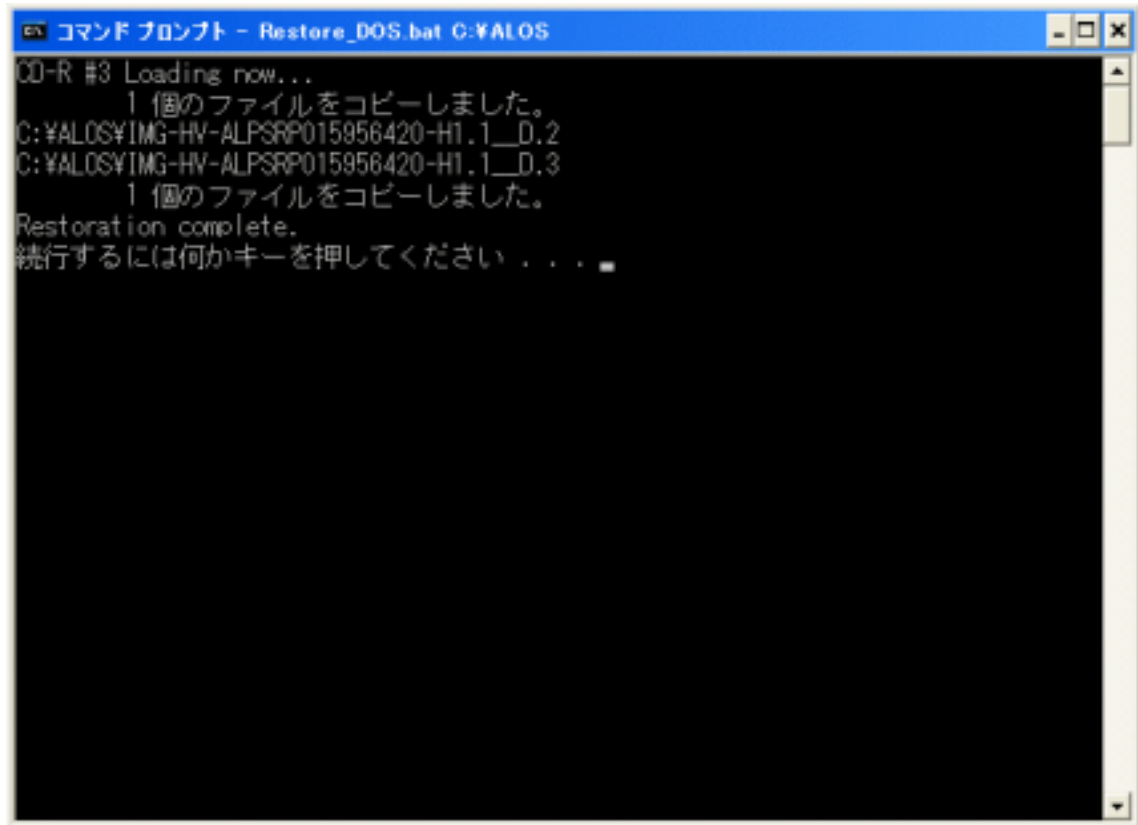
Q:¥ のディレクトリ

2003/11/13  14:56                394 Divide_Info.txt
2003/11/13  14:55           193,854,948 IMG-HV-ALPSRP015956420-H1.1__D
2003/11/13  14:56                792 Restore_DOS.bat
2003/11/13  14:56                869 Restore_UNIX.csh
           4 個のファイル             193,857,003 バイト
           0 個のディレクトリ             0 バイトの空き領域

Q:¥>Restore_DOS.bat C:¥ALOS
```

図-3 MS-DOS 復元手順 (3/5)

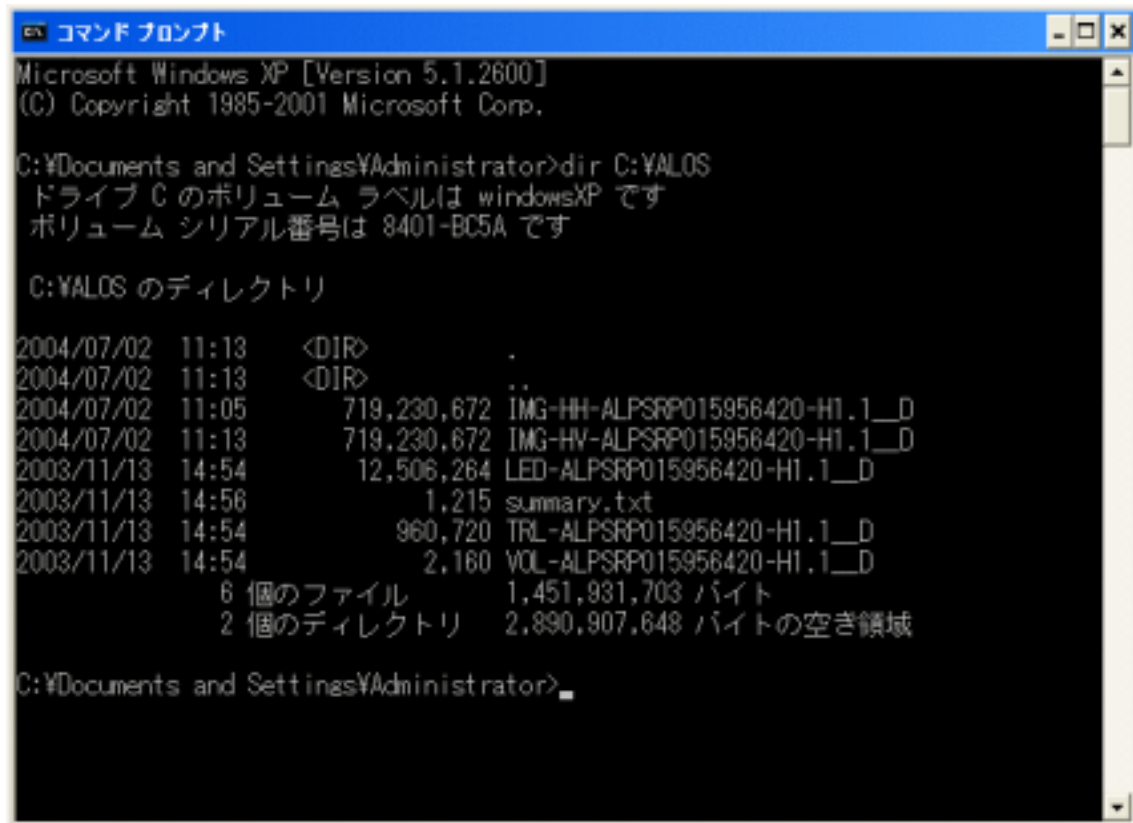
- (15) 結合用バッチファイルを実行すると画面がクリアされ、[CD-R #3 Loading now...]のメッセージが表示され、MS-DOS が出力するコピーメッセージが表示される。
- (16) バッチファイルの処理が終了すると、[Restoration complete.]のメッセージが表示され、バッチファイルの処理が終了する。その後、MS-DOS が出力するメッセージに従って操作を行う。



```
コマンド プロンプト - Restore_DOS.bat C:\VALOS
CD-R #3 Loading now...
  1 個のファイルをコピーしました。
C:\VALOS\IMG-HV-ALPSRP015956420-H1.1__D.2
C:\VALOS\IMG-HV-ALPSRP015956420-H1.1__D.3
  1 個のファイルをコピーしました。
Restoration complete.
続行するには何かキーを押してください . . .
```

図-3MS-DOS 復元手順 (4/5)

- (17) プロンプトが戻ってきたら、[dir (展開先のディレクトリ名)]コマンドを実行し、展開先のディレクトリの中にレベル1プロダクトが復元されていることを確認する。
(図-3(5/5)中、[dir C:¥ALOS]コマンドの実行に該当)



```
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:¥Documents and Settings¥Administrator>dir C:¥ALOS
ドライブ C のボリューム ラベルは windowsXP です
ボリューム シリアル番号は 8401-BC5A です

C:¥ALOS のディレクトリ

2004/07/02  11:13    <DIR>          .
2004/07/02  11:13    <DIR>          ..
2004/07/02  11:05          719,230,672  IMG-HH-ALPSRP015956420-H1.1__D
2004/07/02  11:13          719,230,672  IMG-HV-ALPSRP015956420-H1.1__D
2003/11/13  14:54          12,506,264   LED-ALPSRP015956420-H1.1__D
2003/11/13  14:58              1,215  summary.txt
2003/11/13  14:54          960,720     TRL-ALPSRP015956420-H1.1__D
2003/11/13  14:54          2,160       VOL-ALPSRP015956420-H1.1__D
        6 個のファイル          1,451,931,703 バイト
        2 個のディレクトリ    2,890,907,648 バイトの空き領域

C:¥Documents and Settings¥Administrator>
```

図-3 MS-DOS 復元手順 (5/5)

2.4 UNIX/Linux の場合

ユーザの計算機の OS が、UNIX、または Linux の場合の手順を以下に示します。なお、図-4 は、Redhat Linux WS 3 上での復元操作のサンプルです。

(確認済み対応環境 : IRIX6.5.16, Redhat Linux 7.1, Redhat Linux AS 2.1, Redhat Linux WS 3)

- (1) CD-R 媒体「DISKS: 1 of 3」を CD-R ドライブに装填し、CD-R ドライブをマウントする。
(図-4(1/5)中では、CD-R ドライブ装填によりオートマウントされているので、コマンドを実行していない。)
- (2) CD-R の割当ドライブに移動する。
(図-4(1/5)中、[cd /mnt/cdrom/]コマンドの実行に該当)
- (3) [ls]コマンドを実行し、CD-R 媒体内の結合用バッチファイル Restore_UNIX.csh を確認する。
(図-4(1/5)中、[ls -la]コマンドの実行に該当)
- (4) CD-R 媒体「DISKS : 1 of 3」に格納されている結合用バッチファイルを実行する。
> csh ./Restore_UNIX.csh [展開先のパス名](注 : 引数に展開先のパス名を指定しないとルートに作成します。)
(図-4(1/5)中、[csh ./Restore_UNIX.csh /root/work/]コマンドの実行に該当)

```

root@brackcat: /mnt/cdrom
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ターミナル(T) 進む(G) ヘルプ(H)
[root@brackcat root]# cd /mnt/cdrom/
[root@brackcat cdrom]# ls -la
合計 614313
drwxrwxrwx  2 1000  games      2048 11月 13  2003 .
drwxr-xr-x  4 root   root        4096 6月  4 18:43 ..
-rw-rw-rw-  1 1000  games        394 11月 13  2003 Divide_Info.txt
-rw-rw-rw-  1 1000  games    615575204 11月 13  2003 IMG-HH-ALPSRP015956420-HI.1__D
-rw-rw-rw-  1 1000  games    12506264 11月 13  2003 LED-ALPSRP015956420-HI.1__D
-rw-rw-rw-  1 1000  games        605 11月 13  2003 Restore_DOS.bat
-rw-rw-rw-  1 1000  games        641 11月 13  2003 Restore_UNIX.csh
-rw-rw-rw-  1 1000  games    960720 11月 13  2003 TRL-ALPSRP015956420-HI.1__D
-rw-rw-rw-  1 1000  games    2160 11月 13  2003 VOL-ALPSRP015956420-HI.1__D
-rw-rw-rw-  1 1000  games    1215 11月 13  2003 summary.txt
[root@brackcat cdrom]#
[root@brackcat cdrom]# csh ./Restore_UNIX.csh /root/work/

```

図-4 UNIX/Linux 復元手順 (1/5)

- (5) 結合用バッチファイルを実行すると画面がクリアされ、[CD-R #1 Loading now...]のメッセージが表示される。
- (6) バッチファイルの処理が終了すると、[Please change to CD-R #2...]のメッセージが表示される。
- (7) プロンプトが戻ってきたら、[cd]コマンドを実行し、root ディレクトリに移動する。
- (8) CD-ROM をアンマウントする。
(図-4(2/5)中、[umount /mnt/cdrom/]コマンドの実行に該当)
- (9) CD-R 媒体「DISKS : 2 of 3」を CD-R ドライブに装填し、CD-R ドライブをマウントする。
(図-4(2/5)中では、CD-R ドライブ装填によりオートマウントされているので、コマンドを実行していない。)
- (10) CD-R の割当ドライブに移動する。
(図-4(2/5)中、[cd /mnt/cdrom/]コマンドの実行に該当)
- (11) [ls]コマンドを実行し、CD-R 媒体内の結合用バッチファイル Restore_UNIX.csh を確認する。
(図-4(2/5)中、[ls -la]コマンドの実行に該当)
- (12) CD-R 媒体「DISKS : 2 of 3」に格納されている結合用バッチファイルを実行する。
> csh ./Restore_UNIX.csh [展開先のパス名]
(図-4(2/5)中、[csh ./Restore_UNIX.csh /root/work/]コマンドの実行に該当)

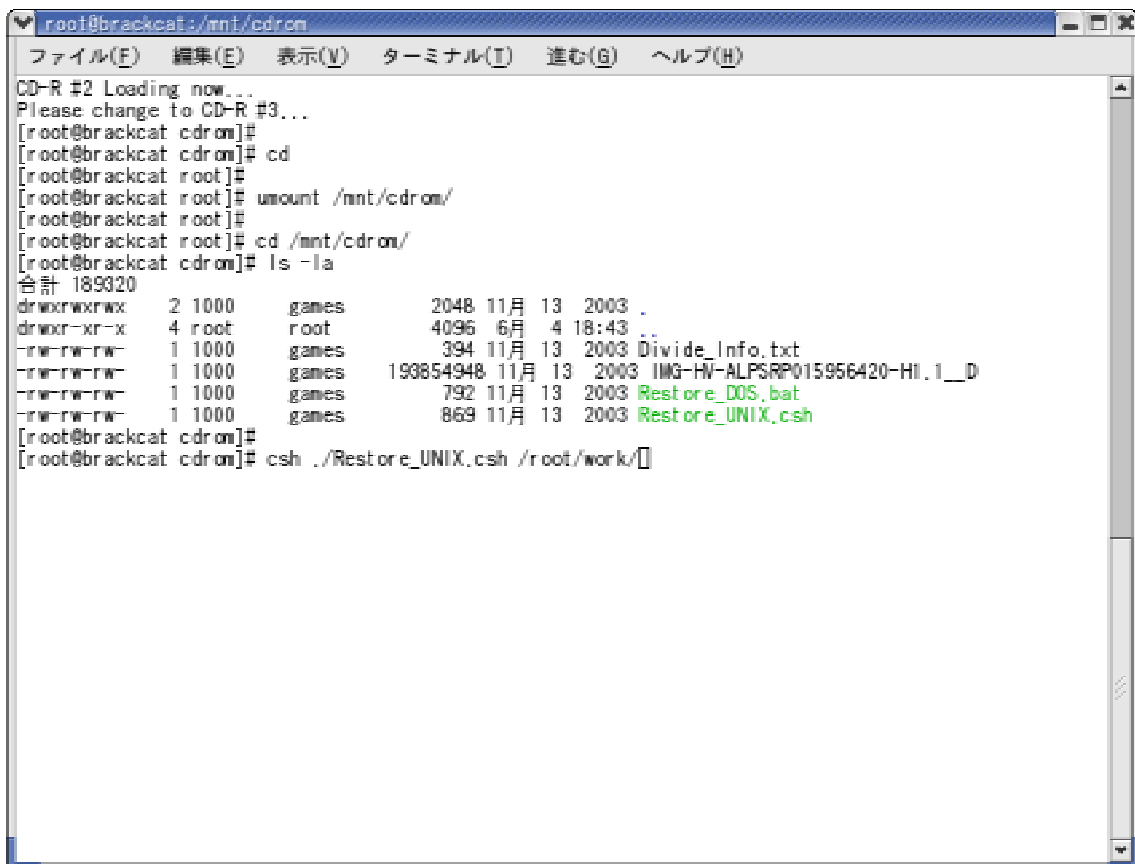
```

root@brackcat:/mnt/cdrom
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ターミナル(T) 進む(G) ヘルプ(H)
CD-R #1 Loading now...
Please change to CD-R #2...
[root@brackcat cdrom]#
[root@brackcat cdrom]#
[root@brackcat cdrom]# cd
[root@brackcat root]#
[root@brackcat root]# umount /mnt/cdrom/
[root@brackcat root]#
[root@brackcat root]# cd /mnt/cdrom/
[root@brackcat cdrom]# ls -la
合計 614298
drwxrwxrwx  2 1000  games      2048 11月 13  2003 .
drwxr-xr-x  4 root   root       4096  6月  4 18:43 ..
-rw-rw-rw-  1 1000  games      394 11月 13  2003 Divide_Info.txt
-rw-rw-rw-  1 1000  games 103655468 11月 13  2003 IMG-HH-ALPSRP015956420-HI.1_D
-rw-rw-rw-  1 1000  games 525375724 11月 13  2003 IMG-HV-ALPSRP015956420-HI.1_D
-rw-rw-rw-  1 1000  games     868 11月 13  2003 Restore_DOS.bat
-rw-rw-rw-  1 1000  games     929 11月 13  2003 Restore_UNIX.csh
[root@brackcat cdrom]#
[root@brackcat cdrom]# csh ./Restore_UNIX.csh /root/work/

```

図-4 UNIX/Linux 復元手順 (2/5)

- (13) 結合用バッチファイルを実行すると画面がクリアされ、[CD-R #2 Loading now...]のメッセージが表示される。
- (14) バッチファイルの処理が終了すると、[Please change to CD-R #3...]のメッセージが表示される。
- (15) プロンプトが戻ってきたら、[cd]コマンドを実行し、root ディレクトリに移動する。
- (16) CD-ROM をアンマウントする。
(図-4(3/5)中、[umount /mnt/cdrom/]コマンドの実行に該当)
- (17) CD-R 媒体「DISKS : 3 of 3」を CD-R ドライブに装填し、CD-R ドライブをマウントする。
(図-4(3/5)中では、CD-R ドライブ装填によりオートマウントされているので、コマンドを実行していない。)
- (18) CD-R の割当ドライブに移動する。
(図-4(3/5)中、[cd /mnt/cdrom/]コマンドの実行に該当)
- (19) [ls]コマンドを実行し、CD-R 媒体内の結合用バッチファイル Restore_UNIX.csh を確認する。
(図-4(3/5)中、[ls -la]コマンドの実行に該当)
- (20) CD-R 媒体「DISKS : 3 of 3」に格納されている結合用バッチファイルを実行する。
> csh ./Restore_UNIX.csh [展開先のパス名]
(図-4(3/5)中、[csh ./Restore_UNIX.csh /root/work/]コマンドの実行に該当)



```

root@brackcat:/mnt/cdrom
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ターミナル(T) 進む(G) ヘルプ(H)
CD-R #2 Loading now...
Please change to CD-R #3...
[root@brackcat cdrom]#
[root@brackcat cdrom]# cd
[root@brackcat root]#
[root@brackcat root]# umount /mnt/cdrom/
[root@brackcat root]#
[root@brackcat root]# cd /mnt/cdrom/
[root@brackcat cdrom]# ls -la
合計 189320
drwxrwxrwx  2 1000  games      2048 11月 13  2003 .
drwxr-xr-x  4 root   root       4096  6月  4 18:43 ..
-rw-rw-rw-  1 1000  games       394 11月 13  2003 Divide_Info.txt
-rw-rw-rw-  1 1000  games 193854948 11月 13  2003 IMG-HV-ALPSRP015956420-HI.1_D
-rw-rw-rw-  1 1000  games       792 11月 13  2003 Restore_DOS.bat
-rw-rw-rw-  1 1000  games       869 11月 13  2003 Restore_UNIX.csh
[root@brackcat cdrom]#
[root@brackcat cdrom]# csh ./Restore_UNIX.csh /root/work/

```

図-4 UNIX/Linux 復元手順 (3/5)

- (21) 結合用バッチファイルを実行すると画面がクリアされ、[CD-R #3 Loading now...]のメッセージが表示される。
- (22) バッチファイルの処理が終了すると、[Restoration complete.]のメッセージが表示される。
- (23) プロンプトが戻ってきたら、[cd]コマンドを実行し、root ディレクトリに移動する。
- (24) CD-ROM をアンマウントする。

(図-4(4/5)中、[umount /mnt/cdrom/]コマンドの実行に該当)



```
root@brackcat:/mnt/cdrom
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ターミナル(T) 進む(G) ヘルプ(H)
CD-R #3 Loading now...
Restoration complete.
[root@brackcat cdrom]#
[root@brackcat cdrom]# cd
[root@brackcat root]#
[root@brackcat root]# umount /mnt/cdrom/
[root@brackcat root]#
```

図-4 UNIX/Linux 復元手順 (4/5)

- (25) [cd (展開先のパス名)]コマンドを実行し、展開先のディレクトリに移動する。
(図-4(5/5)中、[cd work/]コマンドの実行に該当)
- (26) [ls]コマンドを実行し、展開先のディレクトリの中にレベル1プロダクトが復元されていることを確認する。
(図-4(5/5)中、[ls -la]コマンドの実行に該当)

```

root@brackcat:~/work
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ターミナル(T) 進む(S) ヘルプ(H)
[root@brackcat root]# pwd
/root
[root@brackcat root]# cd work/
[root@brackcat work]# ls -la
合計 1419328
drwxr-xr-x  2 root  root    4096  7月  2 10:26 .
drwxr-xr-x 13 root  root    4096  7月  2 10:27 ..
-rw-r--r--  1 root  root  719230672  7月  2 10:17 IMG-HH-ALPSRP015956420-HI_1_D
-rw-r--r--  1 root  root  719230672  7月  2 10:26 IMG-HV-ALPSRP015956420-HI_1_D
-rw-r--r--  1 root  root  12506264  7月  2 10:12 LED-ALPSRP015956420-HI_1_D
-rw-r--r--  1 root  root    960720  7月  2 10:12 TRL-ALPSRP015956420-HI_1_D
-rw-r--r--  1 root  root    2160  7月  2 10:12 WOL-ALPSRP015956420-HI_1_D
-rw-r--r--  1 root  root    1215  7月  2 10:12 summary.txt
[root@brackcat work]#

```

図-4 UNIX/Linux 復元手順 (5/5)